



2019年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2018年11月2日

上場会社名 株式会社MCJ

上場取引所 東

コード番号 6670 URL <https://www.mcj.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼最高経営責任者 (氏名) 高島 勇二

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼最高財務責任者 (氏名) 石戸 謙二

TEL 03-6739-3991

四半期報告書提出予定日 2018年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家及びアナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第2四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	63,783	14.0	4,538	29.3	4,506	27.7	3,134	31.5
2018年3月期第2四半期	55,964	10.7	3,511	15.2	3,529	21.1	2,384	24.3

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 2,263百万円 (23.4%) 2018年3月期第2四半期 2,955百万円 (58.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	31.99	
2018年3月期第2四半期	24.51	

(注) 当社は2018年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第2四半期	62,900	36,001	55.8
2018年3月期	64,512	35,549	52.9

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 35,126百万円 2018年3月期 34,412百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		0.00		36.00	36.00
2019年3月期		0.00			
2019年3月期(予想)				18.36	18.36

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は2018年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行ったため、2019年3月期(予想)については、当該株式分割の影響を考慮しておりません。

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	131,100	5.3	9,000	5.8	8,900	1.8	5,950	2.4	61.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期2Q	101,754,100 株	2018年3月期	101,741,200 株
期末自己株式数	2019年3月期2Q	3,666,652 株	2018年3月期	4,462,408 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期2Q	97,978,204 株	2018年3月期2Q	97,266,680 株

(注)当社は2018年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数(自己株式を含む)、期末自己株式数並びに期中平均株式数(四半期累計)を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3頁「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は、TDnet及び当社ホームページに同時に掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11
(追加情報)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

<連結経営成績の概要>

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢の改善が継続し、個人消費を中心に堅調に推移し、全般的に緩やかな回復基調となりました。一方で、海外情勢については、米中貿易摩擦や地政学的リスクなどから、依然として景気の先行きについては不透明な状況が続いております。

当社グループの属するパソコン市場においては、世界のパソコン出荷台数は、引き続き落ち込んでおり、前年同期比で微減となっております。国内市場の当第2四半期の出荷状況は、法人向け販売の好調を受けて、前年同期比で出荷台数は3.8%増加し、出荷金額についても6.9%増加しました。

このような状況の中、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は63,783百万円（前年同四半期比14.0%増）、営業利益は4,538百万円（同29.3%増）、経常利益は4,506百万円（同27.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,134百万円（同31.5%増）と増収増益となり、売上高、営業利益において第2四半期累計期間としての過去最高を更新いたしました。

セグメントごとの業績は次のとおりです。

① パソコン関連事業

普及モデルの「mouse」ブランドパソコン及び高付加価値、特化型製品であるクリエイター向けパソコン「DAIV」、ゲーミングパソコン「G-Tune」等のBTO（受注生産）、完成品パソコンの製造・販売と、「iiyama」ブランドによるモニタの欧州販売を中心に、マーケットのニーズを的確に汲み取りながら新製品・新サービスの投入に加え、産業が立ち上がりつつあるeスポーツへの関わりの強化の他、長期間展示施設へのパソコン大規模導入やiPhone修理サービスの開始等、長期的な企業価値向上を目指して新たな取り組みを行うことで、積極的に事業展開をしてまいりました。

高付加価値、特化型のいわゆるハイスペックパソコンにつきましては、法人、コンシューマー向け共に引き続き順調に推移していることに加え、2017年3月期より認知度向上を目指して、継続的に実施しているテレビCM等のマスメディア向けの広告宣伝効果が奏功し、売上高が伸長いたしました。又、欧州でのモニタ販売についても引き続き好調に推移したことから、当事業における当第2四半期連結累計期間の売上高は62,052百万円（前年同四半期比14.4%増）、営業利益は4,523百万円（同32.1%増）となりました。

② 総合エンターテインメント事業

「aprecio」ブランドで複合カフェ店舗の運営等を行っており、既存店舗の不調や全面改装費用等の発生により、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,752百万円（前年同四半期比1.7%増）、営業利益は100百万円（同34.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は62,900百万円となり、前連結会計年度末と比べて1,611百万円の減少となりました。これは主に、たな卸資産や有形固定資産等が増加したものの、現金及び預金や受取手形及び売掛金等が減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は26,899百万円となり、前連結会計年度末と比べて2,063百万円の減少となりました。これは主に、借入金が増加したものの、買掛金等の営業債務や未払法人税等が減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は36,001百万円となり、前連結会計年度末と比べて452百万円の増加となりました。これは主に、為替換算調整勘定の減少等によりその他の包括利益累計額が減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益により利益剰余金が増加したこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べて805百万円減少し、17,126百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果獲得した資金は2,159百万円（前年同四半期比162.6%増）となりました。これは主に、たな卸資産の増加額317百万円、仕入債務の減少額386百万円、法人税等の支払額2,795百万円等の減少要因に対し、税金等調整前四半期純利益4,506百万円、売上債権の減少額1,233百万円等の増加要因があったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は1,058百万円（同86.5%増）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出726百万円、無形固定資産の取得による支出73百万円、投資有価証券の取得による支出52百万円があったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は1,424百万円（同32.7%減）となりました。これは主に、短期借入金の純増額1,600百万円があったものの、長期借入金の返済による支出1,193百万円、配当金の支払額1,749百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間の業績につきましては、2018年5月14日に公表しました予想数値に対し概ね順調に進捗しており、通期の連結業績予想の修正を必要としない範囲で推移しております。今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には、速やかに開示してまいります。

当社グループは、2016年5月13日に公表しました2019年3月期を最終年度とする中期経営計画に基づき、主力事業であるパソコン事業においては従来から持つ競争力を引き続き強化し既存事業としての収益性を高めると同時に、M&A等により新規事業分野を積極的に開拓・育成し、連結業績予想及び中期経営計画の達成に向けて経営努力を重ねてまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,049,848	17,248,735
受取手形及び売掛金	14,622,542	13,226,404
商品及び製品	15,572,352	15,672,687
仕掛品	89,004	88,087
原材料及び貯蔵品	4,216,438	4,282,452
その他	1,443,149	1,425,964
貸倒引当金	△11,705	△10,440
流動資産合計	53,981,631	51,933,890
固定資産		
有形固定資産	3,824,526	4,303,078
無形固定資産		
のれん	2,426,036	2,294,678
その他	541,794	605,953
無形固定資産合計	2,967,831	2,900,631
投資その他の資産		
その他	3,804,944	3,829,886
貸倒引当金	△66,906	△66,816
投資その他の資産合計	3,738,038	3,763,070
固定資産合計	10,530,396	10,966,780
資産合計	64,512,027	62,900,670
負債の部		
流動負債		
買掛金	8,409,625	8,008,462
短期借入金	8,038,211	9,084,534
未払法人税等	2,052,355	526,222
製品保証引当金	792,836	786,519
その他の引当金	361,523	414,323
その他	4,128,304	3,606,934
流動負債合計	23,782,856	22,426,996
固定負債		
長期借入金	3,390,269	2,749,992
退職給付に係る負債	332,478	295,935
その他	1,457,200	1,426,485
固定負債合計	5,179,947	4,472,413
負債合計	28,962,804	26,899,409

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,854,491	3,859,883
資本剰余金	8,508,582	8,890,171
利益剰余金	21,188,119	22,571,460
自己株式	△470,240	△386,388
株主資本合計	33,080,951	34,935,127
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2,102	△5,895
為替換算調整勘定	1,073,091	194,216
退職給付に係る調整累計額	△9,191	3,541
その他の包括利益累計額合計	1,061,797	191,862
非支配株主持分	1,406,474	874,271
純資産合計	35,549,223	36,001,261
負債純資産合計	64,512,027	62,900,670

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)
売上高	55,964,529	63,783,099
売上原価	43,340,621	49,015,391
売上総利益	12,623,907	14,767,707
販売費及び一般管理費	9,112,706	10,228,785
営業利益	3,511,201	4,538,922
営業外収益		
受取利息	25,029	46,342
受取配当金	-	18,589
負ののれん償却額	9,209	9,209
受取手数料	27,014	28,462
その他	33,803	66,528
営業外収益合計	95,057	169,132
営業外費用		
支払利息	32,591	39,573
為替差損	32,918	140,470
支払手数料	5,718	14,209
その他	5,061	7,589
営業外費用合計	76,289	201,841
経常利益	3,529,969	4,506,212
特別利益		
固定資産売却益	2,199	2,085
特別利益合計	2,199	2,085
特別損失		
固定資産除却損	2,205	163
減損損失	1,098	245
賃貸借契約解約損	1,180	1,000
事務所移転費用	5,867	-
その他	51	288
特別損失合計	10,401	1,697
税金等調整前四半期純利益	3,521,767	4,506,600
法人税、住民税及び事業税	949,554	1,273,704
法人税等調整額	145,633	78,442
法人税等合計	1,095,187	1,352,147
四半期純利益	2,426,579	3,154,452
非支配株主に帰属する四半期純利益	42,383	20,092
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,384,196	3,134,360

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)
四半期純利益	2,426,579	3,154,452
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	-	12,510
為替換算調整勘定	549,520	△916,009
退職給付に係る調整額	△20,695	12,732
その他の包括利益合計	528,825	△890,766
四半期包括利益	2,955,405	2,263,686
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,913,022	2,264,425
非支配株主に係る四半期包括利益	42,383	△738

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,521,767	4,506,600
減価償却費	222,654	233,407
減損損失	1,098	245
のれん償却額	35,029	179,318
負ののれん償却額	△9,209	△9,209
受取利息及び受取配当金	△25,029	△64,932
支払利息	32,591	39,573
為替差損益 (△は益)	△31,573	26,173
固定資産売却損益 (△は益)	△2,199	△2,085
売上債権の増減額 (△は増加)	1,535,709	1,233,088
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,775,936	△317,048
仕入債務の増減額 (△は減少)	△237,516	△386,504
未払金の増減額 (△は減少)	△326,449	△143,832
預り金の増減額 (△は減少)	56,850	79,083
その他	△490,006	△479,097
小計	2,507,780	4,894,779
利息及び配当金の受取額	25,380	64,757
利息の支払額	△32,481	△39,665
法人税等の支払額	△1,678,553	△2,795,997
法人税等の還付額	-	35,270
営業活動によるキャッシュ・フロー	822,126	2,159,144
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△19,524	△21,326
定期預金の払戻による収入	15,020	16,523
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	-	18,406
投資有価証券の取得による支出	△101,027	△52,192
有形固定資産の取得による支出	△363,502	△726,694
有形固定資産の売却による収入	2,199	2,528
無形固定資産の取得による支出	△42,834	△73,836
差入保証金の差入による支出	△51,890	△52,336
差入保証金の回収による収入	34,243	6,833
貸付けによる支出	△268,320	△828,480
貸付金の回収による収入	248,460	658,491
その他	△20,480	△6,675
投資活動によるキャッシュ・フロー	△567,657	△1,058,758

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	400,000	1,600,000
長期借入金の返済による支出	△1,246,712	△1,193,150
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	-	△72,000
配当金の支払額	△1,262,011	△1,749,718
その他	△6,078	△9,346
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,114,802	△1,424,215
現金及び現金同等物に係る換算差額	324,744	△482,086
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,535,588	△805,916
現金及び現金同等物の期首残高	14,773,214	17,932,266
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,237,625	17,126,350

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結会計期間末における資本剰余金の残高は、前連結会計年度末より381,589千円増加し8,890,171千円となりました。また、自己株式の残高は、前連結会計年度末より83,851千円減少し386,388千円となりました。

これらの主な要因は、当社が2018年4月24日を効力発生日として、当社を株式交換完全親会社、当社の連結子会社であるテックウインド株式会社を株式交換完全子会社とする簡易株式交換を行い、自己株式397,880株を交付した結果、当第2四半期連結累計期間において資本剰余金が393,971千円増加、自己株式が83,855千円減少したものです。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	パソコン 関連事業	総合エンターテイ ンメント事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	54,241,186	1,723,342	55,964,529	—	55,964,529
セグメント間の内部 売上高又は振替高	22,750	—	22,750	△22,750	—
計	54,263,937	1,723,342	55,987,280	△22,750	55,964,529
セグメント利益	3,423,423	152,354	3,575,778	△64,577	3,511,201

(注) 1. セグメント利益の調整額△64,577千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△347,752千円、セグメント間取引消去283,411千円、その他の調整額△236千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	パソコン 関連事業	総合エンターテイ ンメント事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	62,030,612	1,752,486	63,783,099	—	63,783,099
セグメント間の内部 売上高又は振替高	21,680	—	21,680	△21,680	—
計	62,052,293	1,752,486	63,804,780	△21,680	63,783,099
セグメント利益	4,523,599	100,005	4,623,604	△84,682	4,538,922

(注) 1. セグメント利益の調整額△84,682千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△378,943千円、セグメント間取引消去294,027千円、その他の調整額234千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。